

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦 勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年E組3番 氏名 加藤 達

今回の講演会を聴いて、改めて、会毕にしてよかったです。三浦さんが最初に言っていた「簿記というのは、得することはあっても、糸糸対に損することはない」という言葉が印象に残った。自分も実は同じ考えて、社会を生きる上でも、絶対得をして、絶対損をしないことを学んでいる自分は、とても良い環境にいると思う。あとは、自分がこの環境でとれたは生かして自分を表現できるかだと思う。今の自分にはどんなことでもいいから聞くというのができていなく、三浦さんは、聞くことが大切も言っていて、よく聞きたいことを飲み込むことが多いので、そこを改善できたら、より自分のためになると思った。

行政書士は、国家資格で、かなり身近な存在であることがわかった。そして、税理士の次に人が多いこともわかった。自分も、今回の講演会を聴いて、行政書士になりたいという気持ちになった。行政書士という言葉自体は、昨日知ったばかりだが、調べてみると、10,000種類以上の法律書類を手掛きたり、すべての法律系の資格の基本

となったり、将来のための資格である。今後、AIに負けないような資格、仕事だと思う。合格率は、10%前後なのでかなり低いが、合格率は関係ないため、合格するかどうかは自分次第だと思う。将来、いつになるかわからないが、いつかこの資格を取得できたらいいと思う。

三浦さんや、昨日の藤田先生が言っていた。今度、今度という考えではなく、今できることは今やって、将来あの時こうしたら良かったなと後悔しないように、今のこの時を大七カにしていきたいと思った。今ある仕事もどんどんAIに変わってきているが、最後やはり人間が間違いがないかチェックすることが必要。配られた資料の1、2ページ目が行政書士が実際にやる仕事と思うと、すごく書くところが多く、管理しやすいように、ほとんど数字で書くんだなと思った。最後の方が少し急ぎぬになって、ちゃんと最後まで聴けなかったのは残念だったが、2時間という短い時間の中で、新しいことを知ることができ、よかった。三浦さんが言っていたことを生かして、将来の自分のためにがんばりたい。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 F組 5番 氏名 千葉 漢悟

今日の三浦勝也さんによる講演会は将来のことについて改めて考えさせてくれるとても良い機会だった。この講演会での演題は「簿記は人生を変える」というものだが、本当にその通りだと思う。僕も、~~東商業~~東商業を知るまでは簿記という言葉は知らなかったし、何のためにあるのかも、どういつもののかも知らなかった。でも、東商業に入学して、簿記はなくてはならないものだと思ったし、この講演会を通じて初めて、簿記の知識があることには、様々な職業の役に立つことがわかった。三浦勝也さんが言っていたように、簿記は、たくさんの得するところがあるが損することは無い。だから、東商業に入学して簿記を学ぶことができるのは本当に恵まれていると実感した。藤田先生のお話や、今回の三浦勝也さんの講演会をうけて、僕も行政書士の資格を取得したいと強く思った。行政書士の資格について調べてみると、法令科目と一般知識の2つがあり、合わせて8科目あることがわかった。8科目も勉強することはとても時間がかかると思うが、行政書士の試験に受験制限がないことがわかったので今からでも遅くないと思う。もとはやくこの職業、資格を知っていたら、必選の商業科目で経済活動と法を学んだために、マーケティングを学べたので自分の将来に関わるものをしっかり選ぶは良かった

と少し後悔した。約8,000種類もの書類も作成できるとされている行政書士の資格は取得していても絶対に損をしないと思うので資格取得を目標に頑張ってみようと思う。僕はいま、公認会計士になりたいと思っているが、これを機にもう少し将来のことをしっかり考えてみようと思う。将来を考えることはそう簡単なことではないが、僕は簿記が好きなので関連している職業をたくさん調べて進路や職業選択の幅を広げ、何が自分に合っている職業なのかを考えたことも自分のためになると思った。三浦勝也さんが最後に、たくさん間違えることでたくさん正解が増える、覚えることができると言っていたので間違えをおそれず、挑戦していきたいと思うし、ここからの検定試験の勉強でもたくさん間違えた分たくさん覚えていきたいと思った。現在は貸借対照表や損益計算書の作成はパソコンで行っているが、手書きでは考えられない間違いをパソコン会計では平気で起こりうるということを知り、最終的には人がチェックするのだと思った。そのチェックをするのにも簿記の知識は必要不可欠なので、勉強を怠らず、どんどん知識を身に付けていきたい。三浦勝也さんは、性格が素直でいいと知たふりをするといいと言っていたがその通りだと思う。知たふりをすることによって企業に多大な損害を与えてしまうと思うので、性格が素直な人になりたいと思ったし、三浦勝也さんのように、自分もわからないことは一緒に考えることができる人になりたいと思った。またこのような機会があればいいと思う。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 E組 15番 氏名 大平佳奈

今回の講演会は行政書士の仕事を通して簿記の大切さ、重要度を考えるものでした。高校に入るまで簿記という言葉もどんな物なのかも知りませんでした。ですが学んだ今は大切さが分かります。

メリットとしては就職の選択肢が広がる、職場復帰がしやすい、経営状況を正しく判断できる、会社の重要な報告ができる、昇給しやすいなどがあります。デメリットは一切ありません。

世界共通ルールでも簿記は検定取得だけでなく、その知識をどれだけ覚えていくのかも大切です。

では行政書士の仕事とは何でしょう。

行政書士は国家資格者であり、許認可等の申請書類の作成、提出手続代理、遺言書等の権利義務、契約書の作成が主な仕事です。身近な相談相手として国民から期待されていることを知りました。

会社に必要な事から私用にいたるまで、何でも相談できます。

もし家族がなくなってしまった場合、提出しなければいけない書類や自分達ではどうすることも出来ないことをおまかせます。

ですがお金は必ずかかっています。なので少しでも行政書士の仕事について知っていた方が得だなと感じました。

また簿記の話に戻りますが、最近の会社ではパソコンで入力

作業を行うことが多いです。便利ですし、簿記の知識が無くても大丈夫だと思っている人が多いことを知りました。ですがそんなことは無く最終的にミスがないのがチェックするのは人なのでやはり知識が必要です。

私は検定問題では仕訳を起こすことが出来たり、財務諸表も作成できます。ですが会社で仕訳をする際、問題文はありまじ自分の中にある知識で仕訳を起こします。基定科目も指定されていません。まして今の私には出来ないと思います。会社で必要とされる人間になるには対応力とコミュニケーション力が必要です。

どんな領収書があっても的確に仕訳するためには、今のうちに沢山の仕訳を経験し、失敗することが大切です。

講師の方がそう言っているのを聞いて「本当にそうだな」と思いました。

講師の方は他にも、「採用の時に重要視するのは場数よりもやる気、挑戦、探求心がある人、素直な人」。

やはり、やる気というものは人に伝わりやすいなと思いました。

そのため現場経験が無くても、仕事は覚えていくものと言っていたので少し心が軽くなりました。

私~~が~~今から出来る事は何事にも臨機応変に対応すること。

コミュニケーションを高めるために伝える力を身に付ける。

勉強^に無馬力は無いのでスポンジの如くに何でも吸収する。

この3点を常に心掛けて生活していきたいと思います。

今回の講演会はとてもためになりました。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 E組 2番 氏名 工藤 優奈

1番 最初の話で簿記の話を聞いていたが、私も入学する前、
いた直後では簿記というものはくわしい意味はわからなかった。
けれど他の東高生も入学したばかりのころは簿記のことをくわし
く知っている人はあまりいないので、今回講演会をしてくれた三浦
さんも習いたてのころはそうしかたので、自分的にはよくこま
で日商簿記を受けられたなと思った。三浦さんは簿記は独
学で学んでいたとおっしゃっていて驚いた。私たちは商業の先生
から教わっていたから間違いとか分からないところは質問した
りして分かたりするが、独学だと頼りは本だと思うので、とても
すごいなと思った。簿記をやっていると専門用語が出てき
くことがあるが、そのときは素直に相手にきく!ということをし
いて、たしかにそうだなと思った。分からないものを分からないままは
にしておくのはよくないから、きく。というのはとてもいいことだ"と思っ
たので自分もこれからそうしようと思った。今、私たちは簿記を学んでい
るが、簿記の知識をもって"るた"けて"就職が有利になることは
もちろん、職場復帰の後押しにもなるということを知り、驚いた。
女性は特に出産や子育てがあるので、とてもありがたいなと思
った。だから、簿記を知っていて損はないと思った。三浦さんがバイ

トをするときに「経験者求む!」ということによって毎回おとされたと
きいて悲しくなった。そして三浦さんは自分が労働者を求めると
ときには「やる気のある人求む!」というようにするとおっしゃっていて素
晴らしいと思った。自分の勉強経験をいってこういうことをするの
はずだ"と思った。会計人以外で簿記を使う士業に行政書士が
入っているのに驚いた。話をきいたとき書類を代理して記入
するた"けかと思っていた。冊誌を見て、2級の範囲が少しあり、難
しそうだな"と思った。話をきいていると3級と2級は難易
度がけっこう違う。ほくて少し心配になった。行政書士とは、主
に他人の依頼で役所に提出する書類などを代理で作
成などのことをすることが分かった。前日に先生が行政書士につい
て簡単に説明はしてくれていたが今日の講演でもっと深
くまで分かることができた。行政書士の試験は性別・年齢
・国籍問わずであり、私も受けられるときいそぐいいな"と思った。
行政書士は男性だけでなく女性もなる人が多いときいていいな
"と思った。女性ならではの問題を解決するのにとても役立っている
"ということもきいて私も行政書士に興味をもった。試験で合格率は
気にしなくていい、合格した"いなる勉強すればいい"という言葉が心
に残った。建設業試験では、かなり難しいものなのでもし受けた
ら大変だろうな"と思った。現在は簿記はパソコンで"行っているのに
驚いた。けれど最終的には人がチェックするので簿記の知識は改めて
必要だ"な"と思った。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三 浦 勝 也 氏 (三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 E組 30番 氏名 高橋 将

今年、祖父が突然なくなり、両親や祖母が書類整理におわれている姿を見て、自分が将来同じように悩むのでは、とても不安になりました。本籍がどこで、死守診断書が足りないなど、11月までいたので、自分も手伝っていたのですが、よくわからない用語や説明があつたときに、スマホで調べるのがめんどうだという事で、親せきのお兄さんが手を借してくれました。お兄さんは、私に行政書士で、今までビリビリしていた空気が一気に和んで、スムーズに進むようになりました。そのときは全く知らなかった「行政書士」という仕事ですが、実は、自分も助けてもらった職であるということがとてもおどろいた。簿記も学ぶのがとても好きで、出来ない事があっても、いつかわかるおきになるとの達成感がすごいので好きです。好きな事にできることが、一番良い就職だと思ひからもっともっと学んでいきたい。簿記を学んだ人はみんな学んでよかったというので、自分も、「学んでよかった」と思えるように、がんばって学習していきたい。社会にでたら、「したかしたら自分にとっての損にしかたからないので、わからないことはわかるまで聞いて、常にかんがえていられる方にする。そのためには今から、すぐ人に聞くことということを練習した方がいい」と思ひから、今からがんばる。就職してから学ぶ経験は、今よりいいことは、今の学習もムダじゃないということなの

で、苦手なことで、でもチャレンジしていきたい。簿記は採用条件になったりして、就職に有利なので、日商2級を目標に、毎日の授業もそうだけど、家庭学習も充実させていきたい。将来AIに負けないように、AIでもできないようなことの道をどんどん広げていきたい。行政書士で、仕事が活発しているという話を聞いたときに、「行政書士」という職業だけでなく、その他の職業でも仕事が活発になる機会をどんどんふやしていけたらいいと思った。簿記の知識が今、どれだけ必要とされているのかがよくわかった講義だったので、とてもためになった。苦手なところとか、やりたくないところとかもたくさんあるけど、いつか今の努力が自分のためになると思って、あと2年ちょっとの間にもっともっと実力を伸ばしていきたいと思った。経理事務職で役に立つのはあたりまえだけど、その他、でも、職でも、お金のうごきを見る上でとても役に立ち、場合によっては、企業に大きな利益をあたえるかもしれないので、今の努力は絶対ムダじゃないと言ひまれる。先生方の支えと、ご指導のおかげでここまで来たので、もっともっと成長していきたい。卒業までに、思返しをしていきたい。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年F組 Y番 氏名 稲川 涼

私は今まで簿記の勉強をしてきて、将来役に立つかもしれない、という
ような軽い気持ちで検定を受けたりしてきたもので、今日の講演会の
最初に簿記は人生を変えるとと言われても、いまいちピンと来なくて、
でも話を聞いていくうちに、簿記を学んで身につけることのメリット
など、これからの自分にもちろん役に立つし、その身につけるまでの勉強
で、自分に足りない精神力をきたえられるなと思った。
そして、行政書士さんという仕事は今まで知らなかったの、どんな仕
事なのだろうかと思っていたけれど、自分が今習っている簿記とそんな
深い関係があるとも思っていなかったし、東商業全校生徒以上的人数が
その職についていると知って、今まで知り合えなかったことに逆にびっくりし
た。そんな今、自分が勉強している簿記はあくまで検定用で、
今日、実務での仕訳やその他資料を見てやっぱりおかしそう
だなと思ったことと、行政書士さんが書くような書類を見て、何言
てるのかわからなかったり、知っているような勘定科目のはずなのに、
全然わからないのがわかった。でも逆に、実務としてこういうこと
をしている人がいるから、社会が回る人だなと思ったり、将来自分
がこのような仕事につくかどうかはわからないけれど、こういうこと
が出来て、かつ他人でも頼れるような人っていいなと思った。

今回の講演会の話をもっていて、簿記で人生が変わるというのは、
間違いでもないなと思ったし、得になることはあっても損になること
はないと聞いて納得した。普通科の学校の人から簿記を学ぶとしたら、
他に余力がいるけれど、自分は授業の中でこういうことをさせても
らっているし、なによりも、将来の自分に少しでもプラスになるのなら
良いなと思った。他の人よりもしハニテももらっている気持ちでかゝ
ばりたい。三浦さんが自分の体験も含めてお話してくださいました。中で
自分もいざ仕事で簿記を使うということになった時に、今以上に
簿記で人生が変わるの意味がわかるようになるのかなと思ったし、ちゃん
と理解しきれるようになりたいなと思った。でも、実務で自分で仕訳
をしたりして、会社に損害が生じたりするのはすごく怖い。そのため
に今のうちからたくさん間違えるようにして、上書きをしていて、
少しずつ仕訳を覚えていけるようにしたい。
こうして簿記の話をもいて、自分はまだ将来なにをするかなど、
決めてはいないけれど、進学でも、就職でも、今まで簿記に
関わることで手に入れた知識や精神力などを生かせるようにした
いと思っている。それにあと2年ほど簿記に関わることをできる
ので、その中でも今以上にたくさん自分を身につけて、自分の中
に取りこんで、力にしたいと思います。
そして、簿記の力をそれで身につけたたくさんのもので、これからの
人生、たくさんとって戦えるようにになりたいと思いました。これから
簿記を楽しみつつ勉強したいと思います。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年F組 氏名 江畑 珠莉

今回の講演会で改めて簿記の大切さを知ることができました。私は、正直高校を入学してしばらくの間は簿記の大切さや将来どのような時にいかれるのかなどといったことがあまり良くわかっていなかったです。しかし、簿記を学んでいるうちに「簿記はこういうときに役立つんだ」ということなどをたくさん知ることができました。また、今回の講演会で自分がどれだけ恵まれた環境で授業をうけられているのかを改めて感じました。簿記の資格を大人になってから取る人もいて、職場復帰や就職するにも本当に重要になる資格なんじゃないかということも知ることができました。自分は今までどのように簿記の勉強をして資格を取るようにがんばっていますが、自分自身だけで勉強をしてとても難しい資格を取る人もいるんだということも知り、大人になってから苦労する人がたくさんいるのだと思いました。なので、今自分は、今後により有利になることを一歩、二歩リードしてやっているのだということを感じ、本当に恵まれているのだと思いました。簿記は本当に難しくて、たくさんつまづいていくことがありますが、講師の三浦さんが

言っていたように、何かにチャレンジしようと思えば、やる気、正しいことでも分かるようなところがあったり友達や先生にまいて、知ったふりはしないぞと聞いたこと、採用されるかが決まってくることもあるので今からしっかりと勉強して資格を取って少しでも就職や職場復帰に有利になれば良いと思います。間違えることをかきとめて知ったふりをしない。正しい経営判断が出来なかったり、会社に多大な損害が生じかねないので、間違えることをおそれずにたくさん間違えて、そしてたくさん正解が増えていく、そういう人は成長していくのだと感じました。私自身、簿記は得意ではなく分からないところもたくさんありますがそういう時は今まで以上に色々な人に聞いてたくさん正解を増やしていこうと思いました。これから今よりもっと難しくなってくると思いますが絶対にそこであきらめずに最後までしっかりとやしていこうと思います。まだ私は、就職するか進学するか決まっていらないのですか？どちらを選んででも簿記を学ぶことは損にはならぬと思うので高校生生活の中で学べることはしっかりと学んでいこうと思います。簿記は、役に立つ知識、人生を変えてくれる、助けてくれる。私は本当にそうだなと講演を聞いていて思いました。今回の講演会で初めて知ったこと、改めて感じることもたくさんあり本当に良かったです。

講演会 感想記入用紙

平成29年12月13日(水)

◇ 講師：三浦 勝也氏(三浦勝也行政書士事務所)

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 F組 6番 氏名 大川 紫帆

私はこの講演会が行われる前日に、行政書士について調べてみました。行政書士とは、行政書士法に基づく国家資格で、官公庁に提出する書類および権利義務・事実証明に関する書類の作成、提出手続、行政書士が作成した官公署提出書類に関する行政不服申立て手続等の代理、作成に伴う相談などに応ずる専専門職である。と書かれていました。正直、私は難しい言葉ばかりで意味が分からないまま今日の講演会に参加しました。最初は簿記の話でした。話を聞いていくうちに決算整理書を作る事が行政書士は簿記と大きく関わっていると初めて思いました。途中で定款という言葉がでてきました。それは、社団法人および財団法人の目的・組織・活動・構成員・業務執行などについての基本規則そのものおよびその内容を紙や電子媒体に記録したものであり、会社の憲法のようなので、これは行政書士が作成するもので社団法人や、財団法人という単語がでてきたたけで行政書士はすごい職業だと思いました。私が今回の講演会で一番興味を持ったのは建設業経理士です。建設業経理士と大きく関わっているのは経営事項審査

で、経営事項審査は日本の建設業において、公共工事の入れに参加する建設業に~~おける~~者の企業規模・経営状況などの客観事項を数値~~で~~化した、建設業法に規定する審査のことで、建設業にはほんの少しですが私は興味をもっていたので、建設業経理士の資格を持っていれば建設業の仕事を受けやすいと三浦さんが言っていたので少し興味をもちました。他にも領収書の見方をおしえてもらい、仕訳はもう3人ですが、消費税の課税や、非課税のこと、収入印紙紙の買う場所によっては非課税ではないことがわかり良かったです。今回くは~~は~~られた資料の中で株式資本等変動計算書や、支払通知書、一般貨物自動車運送事業損益明細表など他にもまだありましたが、私が見たこと聞いたことのないのがいっぱい、今のままで将来事務の仕事とかをやっていけないと思い、これからの自分の勉強の仕方を考え直さなければと思いました。行政書士さん930名のうち、女性さんが100名しかいないことにおどろきました。私はもっとたくさんいると思っていました。三浦さんの話の中で行政書士の仕事は自宅でもできると言っていたので、女性に優しいなと思いました。~~私~~最後に私はこの講演会を聞いて、聞く前と聞いた後の行政書士さんのイメージが変わり、行政書士さんかどのような仕事をして一般の人と関わっているのかかわかって良かったです。自分の今後の勉強の仕方を考え直そうと思いました。

平成29年12月13日(水)

◆ 講師：三浦勝也氏（三浦勝也行政書士事務所）

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

毎日毎日当たり前のように学んでゐる簿記が将来、行政書士
 として、その仕事以外の会社でも必要だと改めて思
 へた。税理士が、その会社以外でも必要だと改めて思
 へた。今日よりもさらに力をつけて勉強しようと思つた。

私はまだ将来何になりたか、何かしたか、なにかの気持ちがあるのか、その記録をどの程度に検定するかは、^確実にはして、自分の考えが急に決まるともそれなりに対応できるような頑張りたいです。行政書士の仕事はとて難しく感じ、正直自分には絶対にできない、続かせられないと思います。個人的に一番心に残ったのは、女性性に任^せ~~任せ~~て大丈夫ですか。女性にも信用できますと言います。そのような言葉でいうことはいいです。前は、ニコニコ男性の保育士は信用できなという声が一番近所から来ていたというのをきいて、それと似ているように思いました。でもか、私はなぜ仕事を真面目にやっていると他の人からかかすか、そんな男女差別の言動が~~正々堂々~~のなかで不思議です。部落七一人の人が問題を起こすと、部の全体が悪く見られるのと同時に同じくらいだと思えます。

自分女性なだけではない
信用も失なう生活

用しててもいいかなのはとても悲しいのです。その時、
女性にもし、かり仕事から休むと言った切に人にな
れりように、高校生活の身に付けていた「た」です。
簿記を勉強し始めてから、簿記はもうさうな
家に勉強する習慣や部活との両立の仕方などいろいろか
らしく強くなると思っています。中学生の頃には心外
折れていったようなこともなさるようになり、スト
レスもたまりにくくなりました。三浦雅之さん
のおかげで、いろいろな通り簿記の慣れることはな
かなか、そして性格なども変えてくれました。又級
生を勉強し始めたころ級内でも辛いと思いましたが、
負けないううに頑張りました。私は一途
線にのみたことと夢を志したり、工夫すること
が苦手ですが、そのうち行動し、失敗するくらいです、こ
れからの高校生活でそういう苦手な点を所々見
つけ直していけたら将来そんな困難なところはないと思
うと意識して行動していきければいいなと思います。
一つ一つの単語や言葉をもていかに細かく確認も
加えてお話しして下さったので難しき言葉が少し
わかる理解することができました。これから先は
よく頑張りたいと思います。

平成29年12月13日(水)

◆ 講師：三浦勝也氏（三浦勝也行政奮士事務所）

◇ 演題：「簿記は人生を変える」

1年 F組 35番 氏名 山口 續乃

だか、今回の議論、實の中の行政書士になつたものの面模のミエの
お話で、議論の、上で、採用基準で経験者で、あるかどうかと
検査の有無で、最も大切にしてゐることは、チャルニミ精神、

これ仕事にたいする「あう」の「う」が「と」を語に代へてゐる。

今日の二演の中で最えびに驚きました。何かを始めるには少しづつ精

神が、それを続けたにはやうか。必要だといふことを心に留めて、

金銀に生かそうと思ふ。そして、講話の中の性格の素因を

大切だと云つてゐたことは、未だ其内には。私は、よく知つた。

振りをし、果ては人達をうとくし、もう悪い癖が

7月12日を「感動の日」として、この日を「今後社会に

損害を出した。したがって、われわれ自身は、

けうだい。だから、いえのけは、いえとていへ

こゝでは、いゝと意識的に頭に入れたかどうと、これ

今後、ゆかりがいとけ人に聴き、間違いが許さぬが、時に
力を發揮すべき方にならねばならぬ。

講師の先生は「筆記は無駄にだらだらと何度も繰り返し読むこと」を主張し、

労働者と知ることによつて生じる×リットは、単に、就職に有利にたつた
117 だ、産休、育休後などの時、職場復帰がしやすいこと、

組長殿の中の言ひかたをして、いたことを自分から出来るようにやることで、
自営業の人の高士達、いかんやない環境になつたり。

録記したものの仔細をたずねて、サービスマン達と、経理事務所
以外では生かせるのではと、自分から出て以上は良いのではと

思ふ。だが、この「諸記」は難しい、あかひいといふ一説がある。

記 2 級に上げた 40-50 精神を持って出来る限り前向きに
取り組んでいけたらと思う。

近來、ハソリで「漢語」を扱うようになり、それと同時に、日付の問題は

[illegible]

金何れがカバ大事にたてくる。さういふ部分で、今のうちには金段え

うゝ合は、必要とされる「うゝ」で、たとへば、頭に残り、将来の